

■九州大学箱崎キャンパス跡地利用計画について

1. 目的

「九州大学箱崎キャンパス跡地利用計画」は、平成 25 年 2 月に提言された「九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン」に基づき、箱崎キャンパス跡地の計画的なまちづくりと円滑な跡地処分を進めるため、都市基盤整備・土地利用の計画、及び実現に向けた方針などを示すことを目的としている。

2. 策定主体

福岡市、九州大学

3. 跡地利用計画の構成

- I はじめに（目的、九州大学統合移転事業の概要）
- II 計画対象（対象区域、まちづくりの目標年次）
- III まちづくりの考え方（まちづくりの方針、将来構想 など）
- IV 都市基盤整備に関する方針（交通基盤の整備方針、緑の整備方針 など）
- V 土地利用の方針（ゾーンの考え方、すべてのゾーンに関連する視点）
- VI 実現に向けた方針（跡地利用の進め方、まちづくり誘導手法 など）

4. 策定までの経緯

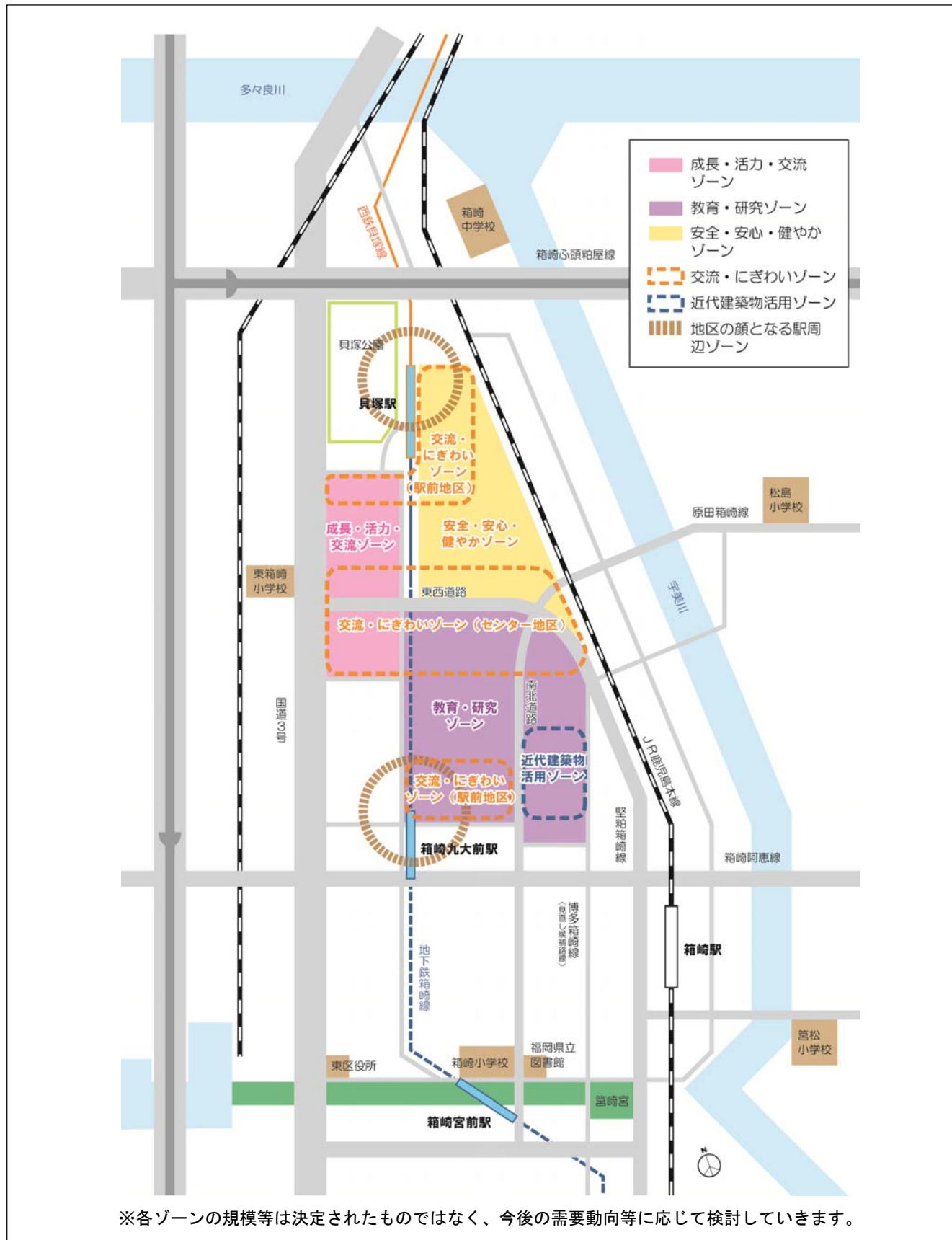
平成 25 年 2 月	跡地利用将来ビジョンの提言
平成 25 年 7 月	箱崎キャンパス跡地利用協議会設置 ※平成 27 年 1 月までに 5 回協議会を開催
平成 26 年 10 月	民間提案募集実施（九州大学） ※平成 27 年 1 月より事業者（14 社）との対話を開始
平成 27 年 2 月(予定)	議会報告（第 4 委員会）
平成 27 年 3 月(予定)	跡地利用計画策定

※民間提案募集について

- ・九州大学は、箱崎キャンパスの跡地利用を進めるにあたり、民間需要の動向を把握することや、開発事業者の公募条件等の参考とするため、「民間提案募集」を実施。
- ・対話事業者として 14 社を選定し、現在対話を行っている。
- ・なお今回の提案募集により、土地取得や開発を行う事業者が決定するものではない。

九州大学箱崎キャンパス跡地利用計画について（土地利用の方針）

◆土地利用の方針



◆ゾーンの考え方

(1) 成長・活力・交流ゾーン

- ・交通利便性の高さを活かしながら、主に福岡市の持続的な成長に資する、新たな活力・交流を生み出す機能を導入する。

《立地が考えられる主な機能等（例）》

- 新産業創造機能、業務商業機能、○スポーツ・健康増進・医療機能、文化発信機能 など

(2) 教育・研究ゾーン

- ・「九州大学」が百年存在した地としてのブランドとともに、九州大学の近代建築物等を活かしながら、個性と創造性に富んだ多様な人材を育成するため、教育・研究の環境づくりにつながる機能を導入する。
- ・接道条件の良い大街区という特性を活かした一体的な土地利用が可能であるため、教育・研究機能と相互補完・連携し、まちの一体感の形成につながる機能については、その導入を検討する。
- ・住宅が多く立地している既成市街地と隣接しているため、周辺環境に配慮した機能を導入する。

《立地が考えられる主な機能等（例）》

- 教育・人材育成機能、○研究・開発機能、○留学生支援機能、○医療・福祉機能（診療所、高齢者福祉施設、子育て支援施設）、居住機能 など

(3) 安全・安心・健やかゾーン

- ・周辺住宅地への影響、周辺住宅地からの施設利用などを考慮しながら、主に安全・安心・快適で健やかに暮らす環境づくりにつながる機能を導入する。

《立地が考えられる主な機能等（例）》

- 医療・福祉機能、健康増進機能 ○防災機能 ○生活支援機能、居住機能 ○創業支援機能 など

(4) 交流・にぎわいゾーン

《センター地区》

- ・各ゾーンの機能を相互に補完する土地利用や、広場等の交流の場など、ゾーン間の交流を促し、箱崎キャンパス地区の一体感を生み出す機能を導入する。

《駅前地区》

- ・様々な人が利用する公益的な機能や箱崎キャンパス地区の魅力向上、生活利便性向上につながる機能、にぎわい・交流を創出するような機能等、駅前にふさわしい機能を導入する。

(5) 近代建築物活用ゾーン

- ・九州大学が有する歴史文化資源を大切に、貴重な地区資産として活かすために、工学部本館、本部第一庁舎、正門門衛所、正門については、建物を保存・活用することを前提とし、近代建築物にふさわしい機能を導入する。

《立地が考えられる主な機能等（例）》

- 教育・人材育成機能、○研究・開発機能、○コンベンション機能、○文化発信機能 など

(6) 地区の顔となる駅周辺ゾーン

- ・箱崎キャンパス地区および周辺地域の魅力を高め、多くの人が集い交流できる機能や、駅利用者の利便性を高める機能の導入を検討する。

《立地が考えられる主な機能等（例）》

- まちの顔となる機能（ゲート広場、モニュメント等）、○にぎわい・交流機能（店舗、飲食店等）、○交通利便性を高める機能（駅前広場等） など